

私立大学図書館協会 2010年度第2回東地区部会役員会
議事要録

日 時:2011年1月28日(金) 15:00~17:00

場 所:青山学院大学青山キャンパス 総合研究所ビル9階(16会議室)

出席者:会長校<関西大学(北川、金、赤木)>、研究部担当理事校<東京理科大学(宮川)>、更新・会報担当理事校<跡見学園女子大学(貴堂)>、月例担当理事校<関東学院大学(矢野)>、監事校<中央大学(荒木)>、部会長校<青山学院大学(山本、添田、伊藤、赤間)>、次期会長校<立教大学(伊藤)>、次期部会長校<明治学院大学(三上、渡辺)>、次期研究部担当理事校<東京農業大学(吉兼、黒川)>、次期更新・会報担当理事校<日本女子大学(中曽根)>、次期月例担当理事校<神奈川大学(堀江)>、東北・北海道地区担当理事校<酪農学院大学(伊藤)>

欠席者:東北・北海道地区担当理事校<東北学院大学(早坂)>

配布資料:

議事次第

「私立大学図書館協会東地区部会 2010年度第2回役員会」資料(以下、「役員会資料」と記載)
<資料>

資料1:第2回役員会 出席者名簿&座席表

資料2:第2回常任幹事会資料

資料3:2010年度東地区部会中間決算支出内訳

資料4:2011年度東地区部会予算案算出資料

資料5:私立大学図書館協会東地区歴代役員校一覧

議事に先立ち、部会長校青山学院大学(山本)より挨拶の後、次期役員校の参加にあたり自己紹介が行われた。議事進行は、部会長校(山本)が担当した。

議事:

1. 報告事項

(1) 東地区部会関係

① 2010年度東地区部会会務報告(2010年4月~12月)

部会長校青山学院大学(添田)より、役員会資料(p.1-3)に基づき、ア.加盟校数、イ.総会、ウ.役員会、エ.役員会事務連絡会、オ.館長会、カ.研究講演会(研究部と共催)、キ.役員校選考委員会について報告された。

② 2010年度東地区部会研究部活動報告(2010年4月~12月)

研究部担当理事校東京理科大学(宮川)より、役員会資料(p.4-6)に基づき、ア.運営委員会、イ.合同会議、ウ.研究会(交流会)、エ.研修委員会、オ.研修会、カ.研究分科会の各活動について報告された。

(2) 第2回常任幹事会報告

会長校関西大学（金）より、12月3日に開催された常任幹事会について、資料2に基づき、主に以下の事項について報告された。

①報告事項

- ・加盟校について（p. 2）
- ・未加盟校への勧誘について（p. 2）
- ・加盟校への書類等の送付について（p. 3）
「協会賞受賞候補者の推薦について」等について2010年9月17日付発送済み。また、メールマガジンにて、「著作権に関する権利者側の要望事項について」等について11月15日付案内済み。
- ・その他について（p. 3）
10月1日から、協会ホームページ上に電子掲示板「インフォメーションサービス」を設置した。
- ・協会賞審査委員会報告について（p. 13）
協会賞の推薦状況については、現在推薦は上がっていない。
- ・研究助成委員会報告について（p. 13）
12月10日締切りで、鶴見大学より個人研究が1件、また湘南工科大学より機関研究が1件の申請2件があった。
- ・2010年度海外集合研修について（p. 13）
- ・2011年度海外派遣研修について（p. 13）
- ・2010年度海外認定研修について（p. 14）
申請は3件あり、研修先は韓国、中国、ハワイであった。既に研修を終えている方からは、レポートが提出されており、これらについては、東地区部会総会および研究大会で発表する予定となっている。
- ・著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集について（p. 15）
- ・電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について（p. 16）
- ・2011年度行事・会議予定について（p. 20）
未記入の項目については、新しい体制にて詳細を決定する事項となっている。

②協議事項について

- ・2010年度一般会計・特別会計決算案について報告された。
- ・2011年度の事業計画（案）について説明があった。（p. 26-28）
資料（p. 26）下線部の内容が昨年の変更部分にあたり、特に資料（p. 28）「協会ホームページ業務の充実と外部委託」のタイトルについては、「協会ホームページ業務の充実と運用の合理化」へ変更する旨の補足があった。
- ・2010年度一般会計・特別会計予算（案）について（p. 29-30）
支出の部における運営費の項目に、協会史をデジタル化しホームページに掲載するための外部委託費を加える予定となっている。また、事業費の協会ホームページ有料サイト利用料については、見積の結果166,950円となっている。協会ホームページの運営費については、サーバーのメンテナンスとコンテンツの外部発注を考慮しており、現段階では予算（案）への記載はな

いが、上限約300万円の方向で、今後の役員会等で検討していきたい旨説明があった。

特別会計における研究助成特別会計の支出の部では、研究助成金の申請は2件のため、2011年度予算180万円は120万円に訂正する。国際図書館協力特別会計については、収入の部の「海外図書館事情調査・海外認定研修補助費」の項目については、「海外図書館事情調査」の記載は削除する旨の補足があった。申請については現在3件あり既に補助金を支払っている。まだ予算も残っているため追加募集を募っており、締切りは2月28日で年末年始に海外の図書館を調査した方など積極的に応募してほしい旨の補足があった。

- ・ 次回の総会・研究大会（p. 31）の運営については、早稲田大学、西南学院大学、立教大学、関西大学の4校で調整を行った。

③ 懇談事項について

- ・ 2011年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について（p.33）

各委員会の未定となっていた委員について決定した旨の補足があった。なお、国際図書館協力委員会の委員長校については、2月中旬頃までに選出する旨を確認した。

< 質疑応答 >

なし

2. 協議事項

(1) 2010年度東地区部会中間決算報告について

部会長校青山学院大学（添田）より役員会資料（p.7）に基づき中間決算報告がされ、了承された。

< 質疑応答 >

なし

(2) 2010年度東地区部会研究部中間決算報告について

研究部担当理事校東京理科大学（宮川）より役員会資料（p.8）に基づき決算報告がされ、了承された。

< 質疑応答 >

なし

(3) 2011年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について

部会長校青山学院大学（添田）より、役員会資料（p.9-10）に基づき、報告された。

① 事業計画（案）について

事業計画（案）は5項目の計画（案）を作成している旨報告があった。

② 行事・会議予定について

東地区関係および協会関係の予定について説明があったが、新たな体制のもと変更が生じる場合がある旨説明があった。

③ 予算（案）について

新たな体制のもと若干変更する可能性もあるが、2010年度の実績を基に作成した旨の説明があった。また参考資料として、資料4を確認した。

上記の協議の結果、事業計画（案）、予算（案）ともに了承された。

<質疑応答>

なし

(4) 2011年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について

研究部担当理事校東京理科大学（宮川）より、役員会資料（p.11-12）に基づき報告があった。

① 研究部活動方針について

2011年度は2010年度と同様の規模で活動を行うことを、運営委員会で決定している。

②活動計画について

③予算（案）について

上記の協議の結果、活動計画（案）、予算（案）ともに了承された。

<質疑応答>

なし

(5) 次期運営委員と研修委員について

研究部担当理事校東京理科大学（宮川）より、役員会資料（p.13）に基づき、2011～12年度の運営委員と研修委員について報告され、了承された。

(6) 部会長校青山学院大学（添田）より、次期東地区部会選出委員について資料（p.14）に基づき報告があり、了承された。

(7) 2011年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催（案）について

部会長校青山学院大学（添田）より、資料（p.15）に基づき、報告があった。

2011年度東地区部会総会については、2011年6月10日に亜細亜大学で行われる予定で、2010年度の事業報告および2011年度の活動計画等が行われる旨の報告があった。

なお、館長会および研究講演会の詳細は検討中との報告があった。

3. 懇談事項

(1) 私立大学図書館協会東地区部会新旧役員校事務引継について

青山学院大学（添田）より、(p.15)に基づき、報告があった。なお、部会長校ほか研究部担当理事校など各担当で行われるが、部会長校については2009年度の引継事例を踏まえ3月に行われている。現在「協会会報」は西地区が担当しているが、会長校が東地区となる場合は、会報は東地区担当となるため、2011年度からは、日本女子大学の担当する旨、説明があった。

4. その他

(1) 引継資料の保管について

⇒青山学院大学（添田）より、現状の部会長としての引継資料は、昭和35年以降から保存されており、本学の資料と合わせると15箱ほどになる。資料の保存期間は定めるべきか。

⇒明治学院大学（三上）より、現状の関連資料の量は、その配送料金や保存場所の確保など、課

題がある。過去の資料については、データ化など検討できないか。

⇒中央大学（荒木）より、過去の資料については現在の協会運営上には必要とされることが無くとも、今後の私立大学図書館協会史の編纂などを行う場合を考え、保存しておくべき資料である。但しその保存媒体については、PDF など比較的安価で編集しやすい形式で行ってはどうか。

また、2011年度の予算案は既に役員会で承認されており、データ化に伴う経費については2012年度以降に計上してはどうか。

以上の結果、次期部会長校明治学院大学がデータ化については引き続き、検討することとなった。

以上